

NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

平成7年10月設立 会員 80名
会費 正会員5000円、賛助会員2000円

RACDA はまちづくり団体ネットワーク、市民事業（市民による公共事業提案）

ネットワークシンクタンク、ローカルシンクタンク、LRTは民主主義の学校、オタクの社会化

★コロナ以来ラクダ Zoom 会議は毎週188回開催、全国ネットワークのチャットの機能

■第1日曜日、京橋朝市と瓦版発行、年13回、交通井戸端会議・出前公聴会

■ビアガー電・ワイン電車再開、テレビ実況中継、バス会社トップ会談も報道された

■路面電車まつり東山会場、東山線開業100年イベント、ゲスト・八名信夫、記念電車運行

■鉄道記念日、駅前広場で模型展示

■市議会毎回傍聴、駅前乗入ロビー活動

環状化・吉備線 LRT のロビー活動

岡山市バス路面電車無料デー応援

■クリーンモバイル岡山倉敷連星都市圏3発行

Zoom メンバー執筆、1000冊、頒価500円、

LRT と制度財源議論、RACDA 政策集

■吉備古墳図鑑の発行とバス情報公開

吉備線 LRT 化の醸成、古代史エリア

古代三都物語2を倉敷市で開催

■国会議連参加（12/11）、国交省ロビー活動再開



路面電車を考える会（広島）

1993年設立 会員24名 Facebook中心
会員紹介のみ、フォロワー2324名

●目的 「車社会に行き詰まった都市の再生を図るため、無公害の路面電車の活用を考え、交通体系全般の見直しを図る活動をしたい」との理念のもとに、市民の発意で発足。代表世話人の交代・死去にともない、2007年活動休止、2012年活動再開。日本一の路面電車ネットワークを誇る広島の路面電車愛好団体として、「超高齢化と人口減少社会到来を踏まえた安全・快適・便利な公共交通サービスの実現」を目指し、利用者の目線から、「身の丈にあった責任ある活動」と「是々非々」を基本スタンスに活動。

●2025年春に、広電待望の新路線「駅前大橋線」が開通し、広島駅電停を発着する全列車が広島駅の新しい駅ビル内に高架で乗り入れる予定。新幹線・JR各線とのスムーズな乗り換え、広島駅と市内中心部とのアクセス時間短縮に大きな効果が見込まれる。新路線開業と合わせて始まる運行系統変更や二次元コードを利用した新しい運賃収受システムの導入といった新たな取り組みの行方も注視する。

●活動実績 2018 1月松山サミット出席、8月交通新聞社新書「広電と広島」発刊、9月広電廿日市駅待合室イベント、2019 1月模型運転会（ROKU 宮島）、9月広電廿日市駅待合室イベント、10月総会（己斐公民館）、11月札幌サミット出席、2020 2月宇都宮ライトレール見学会、2021 11月柚原誠氏（元名古屋鉄道副社長）講演会、2022 7月公民館講座「宮島線100周年 宮島電車のはなし」（～2023年1月）、2023 1月模型運転会（市民交流プラザ）、7月中国新聞取材対応

●役員・運営委員：岩橋徹也、建部拓、森本茂樹（氏名五十音順） messenger：@ThinkTramHiroshima

●Facebook ページ <https://www.facebook.com/ThinkTramHiroshima>